

令和6年度藤井寺市地域部活動あり方検討委員会 会議録

会議の名称	令和6年度 第5回藤井寺市地域部活動あり方検討委員会
開催日時	令和7年3月24日(月) 午後5時30分から
開催場所	藤井寺市役所 3階 305会議室
出席者	委員： 藤井寺市体育協会加盟員：瀧ヶ平 明弘 藤井寺市校長会：北村 敦士 藤井寺市教頭会：黒田 伸隆 中学校教員代表：中村 和昭 教育部教育総務課：中村 真也 教育部学校教育課：岸 廣幸 教育部生涯学習課：杉多 克一 教育部スポーツ振興課：八木 淳一 <div style="text-align: right;">(順不同・敬称略)</div>
	事務局： 教育部長：大山 哲也、教育部教育監：寺田 剛 学校教育課主幹：富田 智子
欠席者	藤井寺市スポーツ推進委員：山根 義文 保護者代表：堂脇 友美 市民生活部協働人権課：龍見 美行
会議の議題	地域移行に向けて
会議の成立	委員11名中、過半数(8名)の出席があり、藤井寺市地域部活動あり方検討委員会規則の規定により成立
傍聴者	0名
会議録の作成方法	要点記録
記録内容の確認方法	会議の議長の確認を得ている
公開・非公開の別	公開

○事務局

皆さん こんにちは。

只今より、令和6年度第5回藤井寺市地域部活動あり方検討委員会を開催いたします。

開会に先立ちまして、委員の皆様方には、次の点についてご了解いただきますようお願いいたします。

本委員会について、原則公開となっており、本日の傍聴者は0人です。

次に本日の内容につきましては、議事録を作成いたしますため、録音させていただきますので、ご了承願います。

最後に、本日の委員会の内容の中で個人のプライバシーに関する内容が含まれた場合は、守秘義務も含め、適切に対応させていただきますようお願いいたします。

また、前回の会議録についてです。資料1について、委員の皆さまにはすでに送付させていただき、ご意見いただいた点については一部修正しております。お示ししている内容で決定してよろしいでしょうか。

(賛成)

ありがとうございます。

議事録につきましては、当日提示した資料とともに後日ホームページにアップする予定となっておりますのでご了承ください。

それでは、本日は山根委員長が欠席ですので、北村副委員長に司会進行していただきます。

北村副委員長よろしくお願いいたします。

○北村副委員長

それでは、次第2「地域移行に向けて」です。前回の会議で、本市では子どもの指導を引き受けてくださる地域の企業チームやスポーツ団体等が少なく、部活動の地域移行・展開は難しい状況で、現状、学校が主体となって部活動をすすめていきますが、可能な範囲で外部指導部活動や合同部活動、拠点校部活動に移行していくという方針を全委員で確認したところです。今回の会議は前回事務局より提案された資料を中心に方針を整理したいと思います。

現状の方針としては、令和7年度は、第三中学校のバドミントン部を学校部活動として活動はするものの、運営や指導については、教員は極力参加せず、外部指導者が実施する「外部指導部活動」として運営し、教員の部活動指導の負担を軽減し、令和8年度に向けて地域移行の受け皿となりえるのか、継続した運営をするのかを部員や保護者、そして外部指導者の意見を参考に協議をしていく必要があると考えています。

これについて何かご意見等ありますでしょうか。

(他委員より意見)

○岸委員

来年度第三中学校のバドミントン部は「極力教員が参加せず」という話でしたが、現時点で部活動指導員は何人入る予定ですか。全部その方に指導していただくのは難しいということですか。

○事務局

今第三中学校でバドミントン部の練習を見ていただいている先生のお知り合いの方1名が部活動指導員として登録していただいています。試合の引率等もできる限りしていただく予定です。部活動指導員さんが毎回必ずきていただけるわけではないので、第三中学校としては顧問の先生も配置し、指導員の方に技術的な部分を指導していただく予定で考えています。

○黒田委員

藤井寺中学校の茶華道部の外部指導者の方について、部活動指導員として来ていただくことは可能でしょうか。

○事務局

外部指導者の方に部活動指導員として登録していただければ可能になりますので、連絡していただくようお願いいたします。

○瀧ヶ平委員

先ほどのバドミントン部の件ですが、現在練習を見ていただいている先生は、毎日来ていただいているのですか。

○事務局

毎日ではなく、土日や平日の可能な日に来ていただいています。その先生がいらっしゃらない時は第三中学校の顧問の先生で見えています。

○北村副委員長

令和8年度から第三中学校のバドミントン部や藤井寺中学校の茶華道部を地域クラブにし、他の中学校から入部することは可能でしょうか。

○事務局

来年度、外部指導部活動として実施する中で、部活動指導員や顧問の先生に状況を確認し検討していきます。

○岸委員

バドミントン部等の運営ですが、来年度の状況もそうですし、部活動指導員の方が他の中学校の生徒も見えてくれることが前提になると思いますが、地域クラブ活動になると学校教育課でまかなっている部活動指導員も配置できなくなります。拠点校部活動であれば、学校が主体なので部活動指導員が配置できます。もしも「藤井寺市のバドミントン部」となると、財源や運営の仕方も変える必要があります。

○北村副委員長

来年度の状況を見て、どうするか考えていけたらと思います。

○事務局

令和7年度1学期終了前に、生徒や外部指導者、教員からアンケートや聞き取りを実施するなど、状況を把握し、令和8年度の実施形態について、令和7年度第1回地域部活動あり方検討委員会で議題にしたいと考えています。

○北村副委員長

次に、今年度から道明寺中学校と第三中学校の剣道部において、2校以上の学校部活動の部員が、合同で練習したり、合同チームとして試合に参加する「合同部活動」として運営しており、教員の部活動指導の負担を軽減しております。令和8年度以降、「合同部活動」として、その後は、「拠点校部活動」として設置することが可能かどうかの可否を含めて検討していく必要があります。

他市では教頭先生が地域部活動を立ち上げ、そこに指導者が集まって、試合に出ているという例があるそうです。土日の学校部活動をやめて、地域チームを立ち上げるのはどうでしょうか。平日は合同で練習し、土日は地域チームに参加する。地域チームが軌道にのれば令和8年度もしくは令和9年度から地域クラブから試合に出るという検討をしてみるのもよいと考えています。中学生だけでなく、小学生や大人も練習できればいいですが、そのあたり八木委員の意見を聞いてもいいですか。

○八木委員

新しい発想の地域スポーツクラブの立ち上げですね。もともと、今の合同練習をゆくゆくは市の剣道なぎなた協会とマッチアップして…という記憶がありますが、指導者も含め、今後どうかかわっていくのでしょうか。

○北村副委員長

マッチアップと言う形で場所や指導者も確保できればいいと思います。どう連携していけるのか模索していきたいところです。追従するクラブが同じような形でできるのか、立ち上げを含めエネルギーや知恵が必要です。今後の動向を注視していく必要があります。

奈良県では令和8年度以降、休日の学校部活動を地域移行、土日に教員がクラブをしたい場合は教員が地域部活動に参加するか、チームを立ち上げるというような話も聞きました。

○中村委員

個人的には地域展開の最終年度になるので2026年度から土日は移行しているだろうと国は考えていたはず。土日は2週間に1回くらいにしていくとか。なくした場合、批判が顧問に行くのではないかと、学校では不安感が大きいです。市として地域に移行する方向です、と言い切ってほしいです。いつまでも教員は不安に思っています。予算がないので教員でやっといってください、といった感じがします。先生方はみんな真面目にクラブのことを考えています。

○黒田委員

やっぱり現状打破するのが厳しいので、学校でできることはなんだろう、と常に考えています。自分の感覚では藤井寺市の保護者の方は、藤井寺市の現状を伝えればわかってくれると思っています。例えばバスケット

ボールの経験のない先生がバスケ部の顧問になると、試合の審判をしなければいけません。そんな中でちょっとでもミスジャッジをしてしまうと批判を浴びたりします。藤井寺市の公立中学校の部活動の現状を理解していただくことが、学校としてできることのひとつだと考えています。

○瀧ヶ平委員

理解はしてくれると思いますが、だったらどうしてくれるの?となると思うので、難しいですね。我慢してね、とは言えないと思います。

○北村副委員長

今の意見もふまえて教育委員会も検討していただきたい。学校が批判を受ける可能性が高いので、奈良県のように方針を出していくことも必要だと思えます。

○岸委員

藤井寺市教育委員会としては平成30年度に土日の活動はどちらか1回に、と言っているはずなので、ガイドラインがあることはわかっておいてほしい。土日をゼロにするのはなかなかハードルが高いが、今ある方針を学校としてまず守ってほしいです。

○北村副委員長

それもふまえて教員の意見を聞いてもいいかもしれませんが、市としてどうするのか方針をおろしてもいいのではないのでしょうか。そんなに簡単にはいかないかもしれませんが、方向をズバツと出してもいいのではないのでしょうか。

○事務局

市としてはクラブのガイドラインを出しているので、学校でも話をしてもらいたい。奈良県の土日の件は、どういう議論があったのかはわからないが、大会をどうしていくのか、藤井寺市だけ土日はしない、となったら子どもたちが大会に参加できなくなります。

○北村副委員長

奈良県は普段は土日にしない、となっています。また調べて話をしていきたいと思えます。委員のみなさんも情報収集してください。

○事務局

剣道部につきましても、令和7年度1学期終了前に、生徒や指導者、教員からアンケートや聞き取りを実施するなど、状況を把握し、令和8年度の実施形態について、令和7年度第1回地域部活動あり方検討委員会で議題にしたいと考えております。その際、藤井寺中学校の剣道部に参加したい生徒を受け入れるため、「拠点校部活動」を視野に入れた協議も進めてまいりたいと考えております。

○北村副委員長

学校以外が主体となる地域クラブ活動ですが、次年度アルティメット教室からアルティメットクラブ活動への移行に向けて何か動きはありますでしょうか。

○八木委員

地域クラブ活動で令和6年度、小学校5年生から中学校1年生を対象にアルティメット教室を開催しました。令和7年度に向けてどういうことができるのかはこれから検討していきます。過去の会議で何度も課題は言っていますが、指導者の確保が引き続き必要です。令和6年度は、市民の方、四天王寺大学のアルティメット部の学生さんに協力してもらってできたので、令和7年度も同じような事業を続けていくとすれば、お知り合いの方等ひろげていきたいと考えています。

○北村副委員長

ありがとうございます。地域クラブ活動については、いくつかの地域団体はあるものの、生徒の受け皿として、持続可能な形で進めていくことができる団体は現在のところありません。今後、そういった地域団体が、地域部活動へ参加するための意思表示ができるような仕組みを構築しておく必要はあると考えています。これについて何かご意見等ありますでしょうか。

○岸委員

以前北村副委員長が話されていた、剣道地域部活動の立ち上げは、こういった形でやっというとかビジョンはあるのでしょうか？剣道部だけでなく、違う部活動を立ち上げたいとなったときに、how to があればいいと思いました。

○北村副委員長

競技によっても違うと思います。アルティメットでもすんなり集まってくかと思っていましたが、場所や時間や指導者等なかなか難しいですね。

○事務局

現状では、地域部活動に参加していただける団体が出てきた場合は、事務局で対応し、各校へアナウンスすることになると思います。

○北村副委員長

ありがとうございます。それでは、外部指導部活動（バドミントン部）と合同部活動（剣道部）につきましては、令和7年度夏季休業中を目途に、生徒、保護者、指導者、教員からアンケートや聞き取りを実施し、令和8年度の実施形態について、令和7年度第1回地域部活動あり方検討委員会で検討していきたいと思っています。その方向性を市内の教職員の皆さんにも共有するべきかと思いますが、何かご意見ありますでしょうか。

○中村委員

野球部も合同部活動で動いています。新年度募集をして試合を単独でできるとなっても合同部活動として今後もやっていきたいとは考えているようです。剣道部だけでなく、野球部も入れてもいいのではないでしょう

か。

○岸委員

両チームの人数がこえたときには、合同チームは認められないと思います。制度上のことも含めて検討は必要ですね。

○中村委員

どのクラブを合同でしていくのか拠点校にしてくのか、というのを計画的に考える必要があると思っています。

○事務局

資料2をご覧ください。教職員の皆さまへの案内文を作成しました。来年度の4月に教職員に周知したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

○中村委員

地域移行をすすめているので、3年間の活動を保証するものではない、と保護者に周知してもいいのではないのでしょうか。いつまでも学校の中に部活動があるものではない、としたい。3中学校そろえて、そんな文言を入れるのはどうでしょうか。

○北村副委員長

道中ではそんな話をしていないので、4月に急にそんな話はできません。入部前に周知できるかもしれないが、難しいのではないのでしょうか。

○黒田委員

何年も前からきちんと計画して丁寧に説明しないといけないと考えています。入部届にそんな文言を入れるという話は出てきませんでした。

○北村副委員長

部活動のあり方に関して、いい案があれば教えてと教員に言っています。ここにいるメンバーが学校でリーダーシップをとり、教員の意見を聞いていきたいですね。

○黒田委員

藤井寺市に住んでいる子どもたちは、減っていきますよね。何年後かには子どもの数が減っているから、部活動の数も減らしていてもいいのではないのでしょうか。

○岸委員

4クラスは当分続くと思います。他市の減り方と比べて藤井寺市の減り方は大きくないところです。

○北村副委員長

では、資料2を市内の職員に配布に向けて意見を集約していただきますようお願いします。
続きまして、次第の3「事務連絡」についてです。
事務局お願いします。

○事務局

本日はお忙しい中、貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。
今年度の開催は本日で終了となります。

次年度については、初回を令和7年の7月中に実施させていただきたいと考えています。異動等で交代になる方もいらっしゃると思いますが、委員のみなさま方は令和7年7月末までの任期となっておりますので、次回のお席についてもよろしくお願いいいたします。日程・場所は決まりましたら正式なご案内を送付させていただきます。今年度、委員のみなさま方にはお忙しい中ご協力いただき本当にありがとうございました。

○北村副委員長

これで、本日の案件はすべて終了いたしました。これを持ちまして「令和6年度 第5回 藤井寺市地域部活動あり方検討委員会」を閉会といたします。